

～ 「恋人の聖地」×「プロポーズの日」in 淡路サービスエリア ～

活動の様子



淡路SA(上り)恋人の聖地下見

屋にフォトウェディングの写真撮影

企画・活動概要

ゼミとして研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱの中で、学内模擬挙式、キャンパスウエディングと取り組んできた。卒業ゼミ活動のとして、ブライダル業界の課題と、淡路SA(上り)の活性化のためにPR動画を撮影する。本州四国連絡高速道路株式会社にて、淡路SAの上り・下りの利用状況についてインタビューを行い、また「恋人の聖地」の認知度を調査し、さらに「プロポーズ」についての意識の調査を行った結果をプレゼンし、PR動画を撮影し、報告会を行う。



デートシーンの撮影

経緯・背景・目的

- ①新型コロナウイルス蔓延のため、結婚式の延期・中止などブライダル業界が縮小する中、ブライダル業界に貢献できないかと考え、結婚のスタートである「プロポーズ」に着目した。
 - ②淡路SA(上り)に全日本ブライダル協会の定めた「恋人の聖地」があり、神戸では毎月第一日曜日をプロポーズの日と定めその日は明石海峡大橋も特別なイルミネーションになる。しかしそのことの周知がされておらず、淡路SA(下り)に比べて利用者が少ない。
- 以上の理由から、この企画に淡路サービスエリアをPRする動画を作成する。



セリフを示す係、ライトを照らす係、それぞれが協力し合っています

取り組む課題

この企画は、本学学生からの持込企画であり、まずは、撮影許可を取ることからスタートするため、課題が多い。

- ①「恋人の聖地」を観光スポットとして周知する。
 - ②「プロポーズの日」の周知(特別なイルミネーションになることを含む)
 - ③淡路サービスエリア(上り)の利用促進 SA(下り)は観覧車があり、有名店舗も入っていることもあり、観光の目的地の一つになっているが、SA(上り)は、化粧室利用が多く、滞在時間が短い。
- この3つを課題として取り組む。



本州四国連絡高速道路株式会社地域連携事業企画部様に本学までお越しいただき、企画をプレゼン

本学(学生)の役割

本州四国連絡高速道路株式会社地域連携事業企画部様に、企画をプレゼンし、撮影許可と場所の提供をいただくための資料を作成。当日の設定、シナリオ、監督、カップル役、撮影、衣装、美容、設営を行い、後日編集してPR動画の作成もすべて学生で行う。最終的に仕上がったものを、本州四国連絡高速道路株式会社地域連携事業企画部様に対し報告会も行った。



デートからのプロポーズのシーン

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

- ・地域に貢献するために何ができるかを考える。問題点について、フィールドワークを行い調査する。
- ・撮影許可をいただくためのPowerPoint作成。まとめた報告書作成能力。
- ・外部の方に、企画を説明するプレゼンテーション能力
- ・シナリオ作成や動画撮影のプランニング能力
- ・大学生としての最後の政策を共に行うコミュニケーション能力
- ・12月5日という寒い日の撮影で、夜のイルミネーション撮影など困難な中、ゼミで培ったホスピタリティが発揮された。



撮影夜景(20時のイルミネーションを待つ撮影)

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
観光学科
特任教授
石橋 仁美 (イシバシ ヒトミ)

<専門・担当科目等>
ホテル・ブライダルコース

<関係者・企業等>



本州四国連絡高速道路株式会社
地域連携事業企画部
部長 秋山宣嗣様 澤田睦様